

(公財) 地震予知総合研究振興会
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第31回)

概要報告

1. 日 時 2025年9月26日(金) 13:30～16:30

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	東京大学	名誉教授	岩崎 貴哉
	新潟大学	特任教授	大塚 悟
	東北大学	教授	岡田 知己
	防災科学技術研究所	フェロー	小原 一成
	地震予知総合研究振興会	会長	金沢 敏彦
	東京大学	教授	酒井 慎一
	名古屋大学	教授	鷺谷 威
	防災科学技術研究所	上席研究員	武田 哲也
	東北大学	准教授	中原 恒
	東京大学	名誉教授	平田 直
	産業技術総合研究所	上級主任研究員	丸山 正

事務局 (公財) 地震予知総合研究振興会

(敬称略)

3. 議題

- (1) 2025 年前半の活動報告等
- (2) Epidemic-Type Aftershock Sequence モデルを用いた新潟県中越地方の地震活動の時空間解析
- (3) Frequency Index を利用した内陸微小地震の応力降下量推定

4. 委員会の状況

2025年度前半の活動報告として①地震活動状況等について、②GNSS観測結果等について説明があったのち、時空間ETASモデルと実際の地震活動の比較に関する検討、Frequency Indexを用いた内陸微小地震の応力降下量推定に関する最新の調査研究について話題提供があった。

(1) 2025年前半の活動報告等

2025年前半の活動報告が行われた。

- ① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、長岡平野周辺の震源分布について意見交換が行われた。
- ② GNSS観測結果等について、長岡平野周辺の地殻変動状況、および活断層データを用いた長期ひずみ速度の推定について説明が行われ、委員会では、GNSS観測点の状態、長岡平野のひずみ速度について意見交換が行われた。

(2) Epidemic-Type Aftershock Sequenceモデルを用いた新潟県中越地方の地震活動の時空間解析

新潟県中越地方を対象とした時空間ETASモデルによる地震活動のフィッティング結果について紹介された。委員会では、ETASモデルと実際の地震活動との比較について意見交換が行われた。

(3) Frequency Indexを利用した内陸微小地震の応力降下量推定

観測Frequency Indexと理論Frequency Indexの差分を用いた応力降下量の推定手法について紹介された。委員会では、通常の手法で求めた応力降下量との比較や、地域性の違いとの関係について意見交換が行われた。

以 上